



ひたちなか市議会議員（会派：社民・立憲民主）

大久保清美

〒312-0052 ひたちなか市東石川213-1-105
 TEL：090-9052-2031
 E-mail：okubo.kiyomi.office@gmail.com URL：okubokiyomi.com

議会報告
第13号
 （2025年4月）



ひたちなか市議会3月定例会報告

1. 広域避難計画に関する 請願について

昨年12月定例会に「ひたちなか市として策定中の『原子力災害に備えた広域避難計画』に関する請願書」が提出されました。請願者は生活クラブ生活協同組合茨城県央ブロック、紹介議員は私が務めました。請願趣旨は、昨年元日に発生した能登半島地震で明らかになった複合災害対策の必要性等を念頭に、「私たち市民といたしましては、課題解決に時間を要することは致し方ない前提下で、市民の命と財産を守るため、真に実効性のある広域避難計画の策定を要望いたします」というものでした。

この請願を審議したのは総務生活委員会でしたが、12月定例会の会期中には結論を出せず、継続審議として本年3月定例会へ持ち越しとなりました。そして3月定例会中の総務生活委員会において、趣旨採択に賛成3名、反対4名という僅差で不採択となりました。これを受け、3月定例会の最終日の本会議において私が請願への賛成討論を行った結果、起立採決となり、賛成8名、反対16名で、最終的に不採択となりました。

今回は残念な結果になりましたが、この請願は、東海第二原発再稼働の賛否にかかわらず、平穏な生活を願う者であれば誰もが望むことであり、世界平和を願うのと同じように、素朴で普遍的な願いだと思い

ます。請願者のこの願いが通じたのか、今回8名もの賛同議員がありました。この思いがさらに市民の間に広がっていくことを願っています。

2. 地域猫との共生社会について

地域猫の命を守る活動の一つに、野良猫を捕獲し不妊・去勢手術を行い、元の場所に戻すTNR活動があります。昨年私はあるボランティア団体からご相談を受け、公益財団法人「どうぶつ基金」が行っている「さくらねこ無料不妊手術事業」に本市も行政枠で登録・参加するよう要請しました。その結果、今年度から本市も参加を決定し、今後はどうぶつ基金の協働行政として、市は「さくらねこ無料不妊手術チケット」を申請できるようになり、そのチケットを使ってボランティアや市民の方々が無料でTNR活動を行うことができるようになりました。この事業内容について市は、従来の「県の地域猫活動推進事業」と併せ、市の公式SNS等を適宜活用し、さらなる周知・啓発を図っていくとのことです。

（付記）3月定例会の一般質問においては他に、「東海再処理施設に係る『屋内退避及び避難誘導計画』について」及び「広域避難計画策定における『市としての課題』について」質問しましたが、これらについては次号にてご報告いたします。